

財団法人 平山郁夫シルクロード美術館



2009(平成21)年 3月8日(日)～6月28日(日)

「豊饒なる色彩 ウズベキスタンの布と器」

開館時間 / 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 / 火曜日(祝日の場合は開館)

入館料 / 一般 1,200円 / 高校・大学生 800円 / 小・中学生 無料

70歳以上の方、20名様以上の団体 100円割引

障害者手帳をお持ちの方は無料、介護の方1名まで600円

被爆者手帳をお持ちの方は無料

主催 / 財団法人 平山郁夫シルクロード美術館

後援(予定) / 駐日ウズベキスタン共和国大使館

ウズベキスタン文化・芸術フォーラム基金 山梨県 山梨県教育委員会

北杜市 韮崎市 南アルプス市 甲斐市 NPOウズベキスタン協会

山梨日日新聞・山梨放送 NHK甲府放送局 テレビ山梨

信濃毎日新聞社 エフエム富士 エフエム八ヶ岳

協賛(予定) / キリンビール ANA

シルクロードの要衝、中央アジアのウズベキスタンは、古代シルクロードの交易に名を馳せたソグド人の地で、トルコ系ウズベク人が来住したのは15世紀頃のことでした。古くから絹と綿を多く産し、民族衣装には大柄で大胆なデザイン、鮮麗な色彩が目をうばう特産の経緋 アドラス を用い、真紅の刺繍 スザニ が室内を彩りました。ティムール帝国の首都となったサマルカンドは壮麗な建築物群のタイルの色から青の都と呼ばれ、その青は民芸的な親しみやすさに満ちた陶器に反映されました。本展では色彩美にあふれたウズベキスタンの布(約40点)と器(約20点)の世界を紹介します。

衣 装



コート(ムルサク) 19世紀
ベルベット 絹



ドレス(クイラク)<アドラス> 19世紀 プハラ
絹・綿

緋(かすり)とは、模様がところどころかすれたようなモチーフを規則的に配した織物で、たて糸でこの緋文を表したものを経緋(たてがすり)と呼ぶ。たて糸が絹、よこ糸が綿の経緋<アドラス>はウズベク人たちに好んで用いられ、この民族を特徴づける織物となった。円文やざくろ文の掛布やこれを使った衣装など華やかな色彩にあふれている。

刺 繍



掛布<スザニ>部分 20世紀 絹・綿



掛布<スザニ> 19世紀 絹・綿

スザニは現在のウズベキスタンを中心に作られた婚礼用刺繍布で、赤い円文や花蔓草文を特徴とし、壁掛けやベッドカバーに用いた。家族の繁栄や安全を祈って刺され、母から娘へと代々受け継がれてきた家庭刺繍である。



帽子 20世紀 綿・絹



飾り袋 20世紀 綿・絹



飾り布 20世紀 綿・絹

陶器

イスラーム陶器の伝統を受け継いだ現代の匠たちが作り出す陶器は、地域と民族の嗜好を反映して色彩に独自性を見せている。



蓋付き壺 20世紀
高66.0 cm タシュケント



皿 20世紀
径21.6 cm タシュケント



皿 20世紀
径33.5 cm ギジドワン



皿 20世紀
径 33.0 cm サマルカンド



皿 20世紀
径 27.8 cm ヒワ



皿 20世紀
径 39.3 cm リシュタン

平山郁夫の描くウズベキスタン



素描 6号 38.0×25.0cm



「ブハラの遺跡 中央アジア ウズベキスタン」

1997年 素描 12号 45.8×61.0cm

「チムール廟 シャーヒジングの遺跡 サマルカンド」

「ビビハヌム寺院遺跡 サマルカンド」

1994年 素描 4号 24.0×33.0cm



* コーナー展示 「平山郁夫の花」

2008年春、平山郁夫が身近な草花たちを色紙に描きました。

「椿（つばき）」

「つりがね草」

「芍薬（しゃくやく）」

など、色紙約 20 点を展示。



* 平山郁夫新作 6 点を展示

2008年 11 月に制作された、

「朝陽沙漠らくだ行」

「ブルーモスク イスタンブール」

「古代ローマの都 フォロロマーノ」

など、初公開の素描 6 点を展示します。



常設展示



平山郁夫のシリーズ制作

「大シルクロード」

「大シルクロード」シリーズ作品

「シルクロード行くキャラバン（東・太陽）」	171.0×364.0 cm	2005年
「同（西・月）」	171.0×364.0 cm	2005年
「楼蘭遺跡に行く・日」	171.0×364.0 cm	2005年
「同・月」	171.0×364.0 cm	2005年
「バルミラ遺跡に行く・朝」	171.0×364.0 cm	2006年
「同・夜」	171.0×364.0 cm	2006年
「アフガニスタンの砂漠に行く・日」	171.0×364.0 cm	2007年
「同・月」	171.0×364.0 cm	2007年
「古代ローマ遺跡 エフェソス・トルコ」	171.0×455.0 cm	2007年
「古代ローマの遺跡 フォロ・ロマーノ」	171.0×364.0 cm	2008年

* ガンダーラ仏教美術・コーナー



* 貴重品展示室



夏の特別展

7月5日（日）～ 12月13日（日）

「仏像のふるさと ガンダーラ」(仮題)

世界に知られる平山コレクションの中核をなすガンダーラ・コレクションの中から、仏陀・菩薩像、仏陀の生涯を描いた浮彫など約100点と、平山郁夫が描いたガンダーラの仏たちを展示。入館料は春展と同じ。